

一 般 質 問

令和7年第3回定例会（9月8日）

質 問 者	内 容	答弁を求める者
村山 一彦	<p>1. 鷲峰山トンネルについて</p> <p>(1) 常に水が出ているが原因は。</p> <p>(2) その対策は。</p> <p>2. ごみ問題について</p> <p>(1) 城陽市がこの4月から、要介護の高齢者や、障害者を対象にした家庭ごみの戸別収集を始めたが、和束町の取り組みは。</p> <p>(2) 家庭から出た資源ごみを持ち去る悪質行為が見られるが、対策は。</p> <p>3. 窓口対応について</p> <p>(1) 苦情、提言があった場合、情報共有が出来ているのか。</p> <p>(2) 記録として残しているか。</p> <p>4. J1京都サンガFCについて</p> <p>(1) 今年、府内全26市町村がホームタウンになったと聞いたが、和束町の加入は何年か。</p> <p>(2) どのような活動をしているのか。</p>	<p>町長</p> <p>町長 環境衛生課長</p> <p>総務課長</p> <p>まちづくり応援課長</p>
山本 達也	<p>1. 和束町への観光客受け入れに際して茶畑観光のルールや制約等の条例を作るべきでは。</p> <p>2. 和束茶カフェ裏大駐車場の敷地内にトイレを設置するべき。利用客の利便性を上げる事も交流人口増加の要素となる。</p> <p>3. 子育て応援給付金を茶源郷ポイントで支給する意図は何か。子育てをするためにかかる経費負担を減らすための直接的支援になっているとは思えない。「移住して和束で子育てをしたい」というファミリーを呼び込むきっかけどころか、そのファミリーを遠ざける事になっていないか。</p> <p>4. 体験交流センター入口 上り坂下の道路補修を早急にするべき。利用者の間でも車の底面が擦る、来客も下に車を停めて歩かれているなど長年に渡り不便や不都合が生じている。</p> <p>5. 和束町健康福祉交流センターの今後の運用について、使われていないスペースをどう使うのか。設計の段階で有効活用案は出なかったのか。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

	<p>6. 移住促進のなかで空家活用移住促進事業補助金について、和東町は全域補助額180万円該当地域であるにも関わらず、湯船と東和東地域のみが180万円、その他地域が90万円である。前期3月末には全域の区長と話ができ、今年7月頃には手続きが完了すると言う話であったがその後どうなっているのか。</p>	町長
宗 健司	<p>1. 町道整備について (1) 町道整備の考え方、優先順位等。 (2) 防災面等。</p> <p>2. 公共事業における行政支援等について (1) 用地買収等が絡む公共事業について、行政支援が必要では。</p> <p>3. 防災対策について (1) 避難所はどのように設定しているのか。 (2) 避難順路、要介護者避難についての考え方は。</p> <p>4. 和東町が後援・共催するイベントの考え方について</p>	町長
高山 豊彦	<p>1. 第5次総合計画・前期基本計画の進捗状況と後期計画に向けた課題を問う</p> <p>(1) 茶産業の発展とオープンエアミュージアム構想の取り組みについて ① 基幹産業である茶業を維持するために今後どのようにしようと考えているのか。また現在の具体的な取り組みは。 ② 6月議会では、オープンエアミュージアム構想の実施計画を精査し民間の事業として取り組むとの答弁があったが、現在の取り組み状況は。</p> <p>(2) 道路整備計画について ① 主要地方道木津信楽線の石寺～信楽間の歩道整備について現状は。 ② 主要地方道宇治木屋線のトンネル完成後を見据え、地域特性に応じた総合的、計画的な道路づくりを推進するとあるが、その計画の現状は。</p> <p>(3) 旧国保診療所施設の活用について 4月に健康福祉交流センターが供用開始され、国保診療所も移転したが、旧国保診療所施設の今後の活用の考えは。</p> <p>(4) 行政のデジタル化の推進について ペーパーレスによるコスト削減や省力化を図るため議会のデジタル化を進める考えは。</p>	町長 建設農政課長 まちづくり応援課長 建設農政課長 保健福祉課長 総務課長

